

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
○ビジョン全般について		
1	西暦表記だけでは分かりにくく、和暦（元号）が変わった時にも分かりやすいように、西暦と和暦（元号）を併記してほしい。	年（年度）の表記は、原則として西暦を使用していますが、グラフ中の年次など併記すると見づらくなる場合等を除き、和暦との併記に修正します。
2	今回の堺都心未来創造ビジョン策定にあたり、「堺 都心のまちづくりプラン」・「堺市中心市街地活性化基本計画」の総括はどのように考えているのか。総括なしに「堺都心未来創造ビジョン」を策定することに疑問である。	<p>堺都心部の活性化に向けて、これまで「堺 都心のまちづくりプラン」及び「堺市中心市街地活性化基本計画」のもと、フェニーチェ堺の整備やジョルノビルの市街地再開発事業、Mina さかい市民交流広場の整備・活用や地域と連携したソフト面での取組を進めてきました。こうした取組などにより、地価の上昇や都心部の人口の増加がみられることから、一定の成果をあげていると考えています。</p> <p>しかしながら、商業環境の変化や施設の老朽化などの影響から、来街者や事務所数等が減少しています。このような状況を踏まえ、2025年の「大阪・関西万博」開催や、2031年のなにわ筋線開業によるアクセス性向上などを見据え、将来にわたって「成長」する堺を実現するために、都心未来創造ビジョンを策定し、市民、事業者、行政など、多様な主体とビジョンの目標や取組の方向性を共有し、公民連携して都心部の魅力を創出し、活性化を図ります。</p>
3	<p>堺区は堺市の肝であるが、堺区の人口流入施策について、どのように考えているのか。</p> <p>また、堺都心部及びその周辺の空き地や小学校跡地・堺消防署等の公共用地の活用も考えてないといけないがいかがか。</p>	<p>堺区の人口増加に向けては、堺都心部の魅力を創出し、市内外からの人の流れを呼びこむことが重要であると考えています。そのため、ビジョンに基づき「魅力を磨く」取組による来街者等を惹きつける場の創出や「魅力を結ぶ」取組による人中心の居心地の良い空間の形成を進め、魅力的な堺都心部の形成を図ります。</p> <p>また、低未利用地や公共用地については、本市が有する地域資源を活かしながら、市民、事業者、行政等が公民連携して活用を図り、様々な目的の来街者を惹きつける場を創出します。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
○堺東エリアの取組について		
4	人を惹きつける施設設置の観点から、瓦町公園の再開発を進めてもらいたい。大型商業施設がよいと思う。	瓦町公園周辺の更新により、多様な目的の人々が集う魅力的な都市空間の形成が図られると考えています。今後、実現に向け民間事業者や地権者等との意見交換等を通じて、具体的な事業計画やロードマップ等の検討を進めます。
5	中瓦町、北瓦町の開発計画は最重要課題と考えるが、一切触れられていない。以前、文化芸術ホールの計画があった中瓦町の再開発事業はなぜ挫折したのか。今後の方向性を示すべき。	中瓦町、北瓦町等の商店街及び周辺については、商業・業務機能の更新に向けて、地元の方々の意見交換や意向確認もしながら、リノベーションや規制緩和等による共同建替等の具体的な手法や制度等の検討を進めます。また、以前、文化芸術ホールの整備が計画されていた中瓦町2丁地区市街地再開発事業については、中枢文化施設として必要な基本的機能を確保できないことから、平成23年に事業が中止されています。
6	現在、堺東エリアで一番集客できるのは駅ビルだと思うが、十分に魅力を発揮できていない。行政と民間事業者が協力して、駅ビルの活性化を図ることを期待する。	南海高野線の連続立体交差化と合わせて、堺東駅街区を更新することにより、多様な目的の人々が集う魅力的な都市空間の形成が図られると考えています。今後、実現に向け関係者と連携し、検討を進めます。
7	堺の顔といえる堺東駅前の活性化は喫緊の課題であるが、本ビジョン案では具体性が見えない。ビジョンであっても実現性を前提にすべき。堺東駅ビルをどのようにするのか、南海電鉄の具体案も示されていない段階では、パースも単なる願望にすぎない。	堺東エリアは商業・業務・行政等の多様な都市機能が集積した重要なエリアと考えています。本ビジョンで示したパースは堺の顔としてシンボリックかつ魅力的な駅街区のイメージしたものであり、実現に向けて具体的な計画については、今後関係者と協議しながら検討を進めます。

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
8	<p>商店街北側周辺については、こうなればよいが、これを実現する民間事業者があるのか想定もつかない。</p> <p>瓦町公園周辺については、再開発事業等で更新するとあるが多額の税金投入が必要となり、そこまでしてやるべきなのか理解できない。</p> <p>また、新しいジョルノの再開発には多額の税金を投入しているが、それに見合う効果があったのか教えて欲しい。加えて、これまで市が進めてきた再開発事業について、税金の投入額と効果を知りたい。</p>	<p>商店街北側周辺は、魅力的な店舗が並び、歩いて楽しい通りの形成をめざします。今後、権利者意向や商業需要の調査等を行いながら、商業機能の充実等に向けた具体的な手法や制度等の検討を進めます。</p> <p>瓦町公園周辺については、商業、業務機能等の導入により、多くの人が集い・楽しむ施設へ更新し、商店街及び周辺に新たな人の流れを誘導することをめざします。今後、民間事業者の参入を促進する具体的な事業手法について、事業費や整備効果等も考慮して検討を進めます。</p> <p>また、堺東駅南地区市街地再開発事業は、都市機能が低下した旧ジョルノビルの建替による商業機能の強化及びペDESTリアンデッキの再整備による回遊性の向上を図ったものです。こうした取組を進めてきたことで、堺東エリアにおける地価の上昇や人口の増加など一定の効果がみられたと考えています。</p> <p>なお、これまで市が進めてきた市街地再開発事業の補助金等については、大阪府ホームページの市街地再開発事業 事業実施地区の概要 (https://www.pref.osaka.lg.jp/toshiseibi/saikai/saikaihatujigyuu.html) に掲載されています。これらの市街地再開発事業により、主に鉄道駅周辺において商業・公益施設の整備や都市型住宅の供給、駅前広場や道路などの公共施設の整備等を行い、土地の高度利用と都市機能の更新が図られてきたことから、一定の効果がみられたと考えています。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
9	<p>シンボリックなウォーカブルパークと書かれており、イメージ図を見ると、大小路歩道橋まで Mina さかいが大きくなっているように見える。Mina さかいは多額の税金を投入し整備したが、今現在使われておらず、広げて効果があるとは思えない。年金や郵便局の建物があるので倍ほどの広場を作るには多額の費用が必要だが、そんなに税金をかける価値があるのか疑問であり、費用対効果が知りたい。また、商店街側の歩道が広がっているが、どのように実現するのか疑問であり、ただのイメージにしか見えないので、どう実現するか知りたい。</p> <p>Mina さかいは、指定管理者制度を活用しても、使い方が定まらないなら本質的に何も変わらなく、イメージ先行で何も考えていないとしか思えない。</p>	<p>ウォーカブルパークは、大小路筋沿道の Mina さかいや歩道空間等のオープンスペースを活用し、交流・滞在を促す居心地の良い人中心の空間形成をめざすものです。今後、実現に向けて、費用や効果等の観点も踏まえながら、具体的な取組の検討を進めます。</p> <p>また、Mina さかいについては、現在、平日は商業者による物品販売や休日は市民による文化イベント等が催され、堺東エリアの活性化に寄与していると考えています。今後、さらなる交流と憩いの空間形成をめざし、指定管理者制度の導入などにより民間の持つノウハウ等を活用し、居心地の良い人中心の空間形成を図ります。</p>
○SMI プロジェクトの取組について		
10	<p>SMI という交通関連の計画が入っているが、総合交通体系はどうなっているのかわからない。SMI 都心ラインは、総合交通体系においてどのような位置付けになるのか知りたい。</p>	<p>本市では、堺市都市計画マスタープランにおいて、交通ネットワークの形成に関し、「都心においては、広域アクセス性の向上、東西交通の整備や他の交通との連携による交通機能の強化、各拠点との連携、都心内の回遊性向上に向けた利便性の高い公共交通ネットワークの形成と、歩行者中心の移動環境の形成を図ります。」としています。</p> <p>令和3年8月に公表したSMI プロジェクト(素案)はその方針に基づいて作成したものであり、SMI 都心ラインの導入を含め、便利で快適な移動環境の実現をめざしています。</p> <p>また、現在策定に向けて取り組んでいる堺市地域公共交通計画においても公共交通ネットワークの形成について検討します。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
11	<p>少子高齢化がますます進み、都市中心部に居住し、車を使わず徒歩や公共交通機関で移動する人が増えると予想されるとき、都心の活性化を図る本ビジョン案に賛成する。</p> <p>この中で、SMI 都心ラインの機種について、電気バスやトロリーバスは無人運転で走行するのは不向きで、交通事故が増える恐れがあるため、電気バスより電気効率が良く、無人運転でも安全に走行できる LRV（路面電車）を提案する。バスより揺れが少なく、高齢者や子供も安心して乗車できる。</p> <p>将来的には、阪堺線との相互乗り入れや、堺市駅、百舌鳥駅、堺浜方面への延伸も考えられる。ヨーロッパのように、都市内の交通機関としてもっと LRT を有効活用すべきと考える。</p>	<p>本市では各種の都心活性化施策と併せ、堺都心部を中心に様々な交通施策、ICT 施策等に取り組む SMI プロジェクトの検討を進めています。</p> <p>大小路筋には、最新技術等の活用により便利で快適な移動を実現する次世代都市交通 ART（SMI 都心ライン）の導入をめざしており、自動運転技術等を活用することで、停留所での段差や隙間の無いバリアフリーな乗降や、スムーズな加減速による快適な車内環境の構築など、堺都心部の移動利便性の向上を図ります。</p> <p>また、大小路交差点においては、人々が交流する空間形成とあわせて、阪堺線と SMI 都心ラインの乗継利便性の向上をめざします。</p>
12	<p>堺駅と堺東駅を結ぶ軌道の新設と阪堺線との相互乗り入れによる公共アクセスの利便性向上を図ってもらいたい。</p>	<p>本市では各種の都心活性化施策と併せ、堺都心部を中心に様々な交通施策、ICT 施策等に取り組む SMI プロジェクトの検討を進めています。</p> <p>大小路筋には、最新技術等の活用により便利で快適な移動を実現する次世代都市交通 ART（SMI 都心ライン）の導入をめざしており、自動運転技術等を活用することで、停留所での段差や隙間の無いバリアフリーな乗降や、スムーズな加減速による快適な車内環境の構築など、堺都心部の移動利便性の向上を図ります。</p> <p>また、大小路交差点においては、人々が交流する空間形成とあわせて、阪堺線と SMI 都心ラインの乗継利便性の向上をめざします。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
13	<p>南北には、南海本線、阪堺線、南海高野線、阪和線、地下鉄と5本の線路が走っていますが、東西には1本も走っていないので、東西の堺駅から堺東駅まで路面電車を走らせて下さい。</p> <p>自動運転バスの導入について検討しているが、高齢者に優しくない、ブレーキがスムーズでない、導入には反対である。路面電車であれば観光にも貢献でき、堺浜や仁徳天皇陵まで延伸すれば観光客の移動が便利となる。自動運転バスでは普通のバスと差別化できない。堺駅から堺東駅まで路面電車を導入して欲しい。</p>	<p>本市では各種の都心活性化施策と併せ、堺都心部を中心に様々な交通施策、ICT 施策等に取り組む SMI プロジェクトの検討を進めています。</p> <p>大小路筋には、最新技術等の活用により便利で快適な移動を実現する次世代都市交通 ART (SMI 都心ライン) の導入をめざしており、自動運転技術等を活用することで、停留所での段差や隙間の無いバリアフリーな乗降や、スムーズな加減速による快適な車内環境の構築など、堺都心部の移動利便性の向上を図ります。</p> <p>また、大小路交差点においては、人々が交流する空間形成とあわせて、阪堺線と SMI 都心ラインの乗継利便性の向上をめざします。</p>
○堺旧港エリアの取組について		
14	<p>堺旧港周辺について、多額の税金を投入して、栄える未来がそこにあるか想像ができない。今はそのお金を、子育て世代の市外への流出を防ぐべく、子育て支援や福祉の充実に充てるべきではないか。</p>	<p>将来にわたり持続可能な都市として成長するには、本市の有する地域資源を活かし、都市魅力を高めるなど、都市ブランドを形成し、成長する堺の実現が重要と考えています。</p> <p>堺旧港は、鉄道駅から徒歩圏に位置し、親水護岸が整備された美しい海辺を有する港であり、大浜北町市有地などの周辺を含めて、そのポテンシャルである海辺の魅力を活かして、民間活力を活用しながら居心地の良い交流空間を形成することで、より多くの市民、来街者が訪れるエリアの形成を進めます。</p>
15	<p>堺旧港周辺の再開発と魅力の向上、来訪者の増加に向けて、周辺事業者や地元自治会との協議体設置の必要性をどう考えているのか。</p>	<p>堺旧港周辺の魅力向上や来訪者の増加のためには、市民、事業者、行政も含めビジョンを共有し、公民連携によりエリア価値を向上させる必要があると考えています。多様な主体による協働体制の構築についても検討を進めます。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
○ベイエリアとの連携について		
16	<p>大阪万博、大阪万博後の IR 施設に向けての「海上アクセス」として「(未来型)水上バス」の運行計画は現在、どのくらい進んでいるか。また、災害時対応の「交通アクセス」の多様化のため、「(未来型)水上バス」を実現していただきたい。</p>	<p>大阪ベイエリアにおける海上ネットワークの形成に向け、大阪府、大阪市等と連携のもと取り組みを進めており、昨年度には舟運の事業化に向けた社会実験を実施しました。今後も大阪ベイエリアの回遊性向上をめざし、取組を進めます。</p>
○大仙公園エリアについて		
17	<p>堺都心、ひいては堺市全体のためには、大仙公園及び周辺エリアの未来像をどう描くかが問われている。</p>	<p>大仙公園エリアでは、2030 年度にめざす姿として「百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力を発信するエリア」「国内外の多くの来訪者にとって魅力ある、おもてなし環境の整ったエリア」を掲げています。</p> <p>民間のノウハウや資金など民間活力を導入して来訪者が魅力を感じられる周辺市街地の整備を進めます。</p>
18	<p>重要観光拠点の一つである仁徳天皇陵古墳周辺への繋がりも必要であるため、自転車道の設置とコミュニティバスの運行を提案する。</p> <p>・自転車道： 御陵前交差点から仁徳天皇陵古墳まで1車線をつぶし自転車専用車線とする。また御陵通交差点から仁徳天皇陵古墳までを歩行者・自転車の通行のみとする。(車は別の道を迂回して大仙公園駐車場に誘導する。)</p> <p>・コミュニティバス： 観光客・市民の観光が主目的だが、ペットも乗れるようにすると市民(車を運転しない高齢者等)も大仙公園にペットを散歩に連れていけるようになり、市民のリクリエーション活動に資する。</p>	<p>本市では、「堺観光戦略」における重点エリアである環濠エリアと大仙公園エリアに点在する歴史文化の魅力を発信し、周遊を促進するため、令和4年度に堺の和菓子を軸としたデジタルスタンプラリーや堺の持つ新たな魅力を体感していただける周遊型イベント「紐とけば堺」を実施しました。また、市内の3つの観光案内所では、観光レンタサイクルも実施しています。いただいたご意見も踏まえ、各局と連携し、来訪者の利便性を向上し、市内周遊を促進するための効果的な観光施策を検討します。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
○自転車レーンの設置について		
19	<p>大小路筋やフェニックス通りなど、広い歩道には「自転車レーン」を設置してもらいたい。</p>	<p>歩行者及び自転車利用者の安全確保のために、自転車は原則車道通行であり、歩道通行は例外であるという観点に基づき自転車通行空間の整備を進めています。なお、通行空間の整備形態の選定にあたっては、自動車の速度や自動車交通量、道路空間の再配分の可能性などを踏まえて決定しています。</p>
○南海電気鉄道高野線堺東駅の高架化について		
20	<p>踏切事故防止や通勤時の混雑緩和のため、堺東駅周辺の南海高野線を高架化して踏切をなくしてほしい。</p>	<p>南海電気鉄道高野線の浅香山駅～堺東駅付近では、令和4年度より連続立体交差事業に着手しています。この事業は、鉄道高架化により10箇所の踏切を除却し、合わせて側道や駅前線などを整備することで、安全で円滑な交通の確保や中心市街地の活性化に寄与するもので、堺市が事業主体となり、鉄道事業者である南海電気鉄道（株）と協力して進めています。</p>
○大阪モノレールの延伸について		
21	<p>大阪モノレールが堺駅まで延伸された場合、東西交通軸が形成され、堺都心部の発展につながり、大阪市内でなく堺市内での消費活動の増加、海外からの観光客等を含む人の移動などの効果が考えられる。一方で多大な費用負担が必要となるが、大阪モノレールの延伸について、どのように考えているのか。</p>	<p>本市では、広域ネットワークや市内の拠点ネットワーク形成等の実現に向け取組を進めており、令和2年2月に取りまとめた「堺グランドデザイン2040」において、広域ネットワーク形成の長期的展望として、「大阪モノレールの延伸による周辺都市や市東部地域とのアクセス性の向上」を挙げています。今後も引き続き、交通ネットワークの整備に係る動向を注視し、本市の公共交通ネットワークの形成や利便性向上等の取組を進めます。</p>

堺都心未来創造ビジョン(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
○観光施策について		
22	堺の良いところは良くも悪くも、「のんびり」した地方都市であることだと考える。従って、いわゆる「観光」をめざすより、観光+学び・心身を休める休暇 という方向性をめざしてはどうだろうか。	本市では、由緒ある神社仏閣や歴史的なまちなみ、伝統産業などの数多くの歴史的な文化資源が集まる「環濠エリア」を観光の重点エリアと定め、観光客の誘客や周遊促進など、地域経済を活性化させる取組を推進しています。令和5年度には、民間主体の事業展開を促進するモデル事業として、内川河川敷エリアでマルシェ等のイベント開催や、堺の伝統産業等の体験型商品をPRするため、修学旅行時の観光ガイドなど、受入人員の派遣に対する支援を実施します。いただいたご意見を踏まえ、今後も堺の魅力である歴史文化にふれることができる観光施策を検討します。
23	「花と緑の街堺」をスローガンにして、綾之町から御陵前までの大道筋に桜を植え観光名所にしてはどうか	綾之町から御陵前までの大道筋を含む環濠エリアについては、公共空間の利活用について、市民のみなさまと勉強会や社会実験を実施しながら、人中心の居心地が良く歩きたくなる都市空間の形成をめざしています。公共空間利活用の意味や効果を、皆様と共有しながら取組を進めます。

提出された意見は適宜整理、要約しています。

また、賛否の結論だけを示したものや、趣旨が不明瞭なもの、堺都心未来創造ビジョン(案)に関係する以外のご意見等については、ご意見の要旨や市の考え方を示していないものがあります。